

※児童数で配付しています。

2022年（令和4年）度 最終号

長後小だより

藤沢市立長後小学校 Tel 0466-44-0129



学校教育目標
心豊かに 生き活きと
活動する子ども
3月24日（金）発行
校長 岩成 真澄

1年間ありがとうございました

3月17日（金）、卒業式が行われました。今年度も在校生や来賓の方々の参列はありましたが、6年生保護者の皆様とわたしたち教職員ともに6年生の卒業をお祝いすることができたことは、とてもうれしいことでした。新たなステージで卒業生の子どもたちが、明るい未来に向かって一歩ずつ進んでいかれるよう、わたしたちも応援しています。

保護者の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解ご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。また地域の皆様には見守りボランティア、登下校のパトロール、交通指導等、大変お世話になりました。子どもたちが安全に無事に過ごせたのは多くの方々のご協力があればこそだと感謝しております。ありがとうございました。来年度も長後小学校をどうぞよろしく願います。

学校づくりアンケート

5年生児童・5年生保護者、学校評議員の皆様にご協力いただき、本校教職員も併せて「学校づくりアンケート」を実施しました。このアンケートは、一年間の教育活動を見直すとともに、次年度の教育活動をよりよいものにしていくための参考とさせていただくものです。アンケートは、毎年同じ児童、保護者の皆様を対象に行っているわけではありませんので、変化を単純に比較することはできません。しかし、結果は年度における教育活動の評価として大切な指標となるものです。学校では、この結果を参考に重点目標に対する自己評価を行い、それをもとに学校関係者評価も行いましたので、ご報告いたします。

アンケート結果については以下の通りです。それぞれの項目につき、

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない の4つの選択肢から回答していただいています。

◇保護者の方々の回答から

2022年度(%)

(保護者)	A	B	C	D
1 子どもは楽しく学校に行っている	62	31	5	2
2 子どもは授業を楽しんでいる	26	50	17	7
3 学校は分かりやすい授業を目指し、努力している	31	52	14	3
4 学校は子どものことについての相談に、適切に応じている	25	58	14	4
5 学校は子どもの保健・安全管理をしている	47	40	7	5
6 子どもは家で、学校や学級のことをよく話している	40	40	17	3
7 あなたは、子どもの友人関係をよく知っている	22	52	17	9
8 あなたは、学校からの配布物に丁寧に目を通している	34	43	21	2
9 あなたは、学校行事・PTA行事等に参加するようにしている	29	40	26	5
10 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている	14	50	29	7

「1 子どもは楽しく学校に行っている」(93%)、「3 学校はわかりやすい授業を目指し努力している」(83%)、「5 学校は子どもの保健・安全管理をしている」(87%)については80%を超えており高評価をいただいています。「4 学校は子どものことについての相談に、適切に応じている」(83%)の項目も+評価が80%を越えていますが、今後も児童や保護者の困りごとに寄り添った相談体制をつくることが大切です。また、「2 子どもは授業を楽しんでいる」と言っているのは、+評価が76%であり前年度よりもやや下がっています。楽しく安心して学校に通うという基本的な事柄については、今後とも重要な評価視点としてとらえていきたいと考えます。

「6 子どもは家で、学校や学級のことをよく話している」は80%でした。また「9 学校行事・PTA行事等に参加するようにしている」についても前年を下回っていますが、今年度も行事等、人数制限のなかでの開催であったことの影響もあると考えます。「10 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている」の項目は前年度よりやや数値が下回っています。学校行事・PTA行事等については、今後状況を踏まえて感染症防止対策も含めて考えていかなければなりません。しかしこのような行事は保護者と児童のコミュニケーションづくりや学校の教育方針理解のための大切な機会ととらえ、引き続きPTAとも連携して周知を広めたいと考えます。そして、保護者・地域と教職員がより近い存在になるよう、さらに連携を深めていきたいと思えます。今後とも学校だよりやHPの活用をはじめ、学年・学級単位での様々な情報提供機会を捉え、教育方針や学校生活の様子等についての積極的な発信を行い、一層の理解に向けて努力をしていきたいと考えています。

◇児童の回答から

(5年児童)	2022年度(%)			
	A	B	C	D
1 学校へ行くのは楽しい	53	38	6	3
2 学校の行事は楽しい	57	32	11	1
3 授業はわかりやすい	52	34	11	3
4 先生は、私たちの考えや意見を聞いてくれる	68	21	9	2
5 先生達は、自分が努力したことを認めてくれる	66	26	6	3
6 学校では、命の大切さや集団のルール、マナーを学習している	64	31	2	3
7 学校では、いじめや暴力が無くなるよう取り組んでいる	48	34	13	6
8 学校には、いろいろな悩みなどの相談にのってくれる先生や友達がいる	65	22	9	4
9 学校では、私たちの安全や防犯に取り組んでいる	72	20	7	1

「1 学校へ行くのは楽しい」(91%)「2 学校の行事は楽しい」(89%)、「3 授業はわかりやすい」(86%)、「4 先生は私たちの考えや意見を聞いてくれる」(89%)、「5 先生達は、自分が努力したことを認めてくれる」(92%)、「6 学校では、命の大切さや集団のルール、マナーを学習している」(95%)、「9 学校では、私たちの安全や防犯に取り組んでいる」(92%)については継続的に85%を超えている項目です。

集計は単年度ごとの結果であるため、この数字が本校の教育の質的变化を直ちに表しているとは考えにくい部分がありますが、わかる授業づくりへの取り組み、人権意識の涵養、児童の困りごとに寄り添った支援体制の確立など基本的かつ学校生活に重要な部分については、今後とも重点をおいて、継続的に努力をしていく必要があります。児童の声に耳を傾け、教職員と子どもとの信頼関係づくりを元に、児童が安心して楽しい学校生活を送ることができるよう、一層努力していきたいと考えます。

◇教職員の回答から

今年度、多くの項目で前回と比較してポイント増の傾向が見られました。「6 実践的指導力の向上を目指して、校内研究の充実が図られている。」(93%)や「1 基礎的事項の定着を図る授業改善が推進されている」(92%)についてもポイントが高くなっています。引き続き、基礎的事項の定着や授業改善のための研究などについては、次年度以降も重要な課

題として全教職員で共有し、よりよい教育活動に取り組みたいと考えています。

「開かれた学校づくりの推進、学校支援ボランティアの導入等、保護者・PTA・地域との連携を深めている」(95%) については、開かれた学校づくりや、保護者PTA地域等との連携、保護者・地域など外部からの支援・応援が教育活動をしっかりと支えている現状認識を教職員が持っていることを表していると考えます。今後も児童の見守り、通学路の安全確保など様々な場面で支援・応援をしていただくようになるので、その認識をしっかりと持っていくことが大切です。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために様々な行事やPTAの活動などは縮小、制限をして行わざるを得ませんでした。次年度以降も、そのときどきの状況をふまえながら、どのような工夫をしたらよいのかを考え、取り組みを進めていきたいと考えています。

2022年度(%)

(教職員)	A	B	C	D
1 基礎的事項の定着を図る授業改善が推進されている	21	71	7	0
2 共通理解に基づく、全教職員による児童指導の充実が図られている	18	57	25	0
3 「開かれた学校」づくりの推進、学校支援ボランティアの導入等、保護者・PTA・地域との連携を深めている	29	64	4	4
4 学校の教育目標は、子どもたちの実態や保護者の願いを反映したものになっている	18	68	11	4
5 協力体制の確立と責任ある事務処理等、校務分掌組織の明確化と活性化が図られている	14	64	18	4
6 実践的指導力の向上目指して、校内研究の充実が図られている	36	57	4	4
7 異文化への積極的な関わりと尊重する態度の育成が図られ、国際教育が推進されている	46	43	11	0

◇学校評議員様アンケートより

今年度は、年3回の学校評議員会を行い、毎回子どもたちの様子を見ていただき、以下のようなご意見、ご感想をいただきました。

- ・子どもたちは楽しく学校生活を送れている。先生方は、子どもに寄り添い、楽しく授業をしている。地域の特色を生かした学習に取り組んでいる。

- ・新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつも、様々な工夫をしながら教育活動を行っている。久しぶりに運動会を参観したが、子どもたちが楽しそうに走り回る様子や、先生方の機敏な動きに感動した。

- ・タブレット等ICTの活用など、わかりやすい授業の工夫がなされている。さらに指導力向上に向けた校内研究が進められていることが素晴らしい。

- ・学校ホームページがこまめに更新されていて、学校や子どもたちの様子がよくわかり、保護者の方も安心されるだろうと思う。今後とも地域との連携を深め、安全面や学習面など地域人材の活用を進め、よりよい学校づくりに尽力していただきたい。

◇まとめとして

コロナ禍での教育活動も3年目を迎えました。様々な制限があり、実施の仕方を工夫しながらの学校生活でしたが、今年度は、評議員の皆様、保護者の皆様に来校していただく機会を少しずつ増やしてきました。児童の様子を見ていただく機会や担任等と顔を合わせてお話しをする機会が増えたことで、今まで見えなかった課題も出てきました。

一人一台の端末が整備され、日常の中でどのように活用していくのか研究を進めています。デジタルとアナログのよさを生かしながら、みんなと学校で過ごすこと、みんなと一緒に学習・活動することの大切さを感じながら学習活動を進めて行きたいと考えています。今後も、様々な対策や工夫をしながらの教育活動となると思われませんが、学校教育目標である「心豊かに、生き生きと活動する子ども」を目指し、教育活動に取り組んでまいります。アンケートのご協力ありがとうございました。